

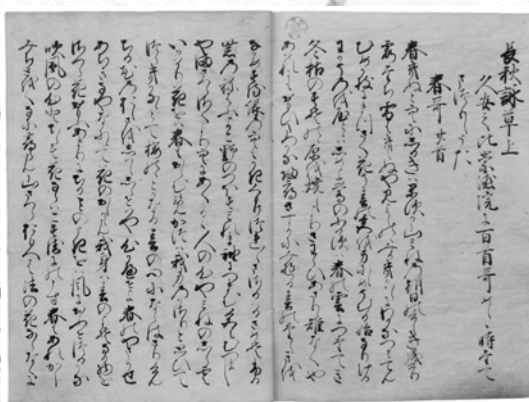
# 令和5年度筑波大学附属図書館企画展

今回の企画展は、文化遺産としての古典籍への最適のアクセス方法を提案することを目的とします。現在は古典といっても洋装本で読むのがふつうです。しかし書物としての古典籍には読まれるための仕掛けが種々施されています。

第1部 本のかたち（形状、装幀など）、第2部 本の構成（表紙、本文、奥書など）、第3部 写した本・刷った本（製作方法など）、第4部 本を分類する（分類と目録など）という四つの視点から、迫ってゆきたく思います。

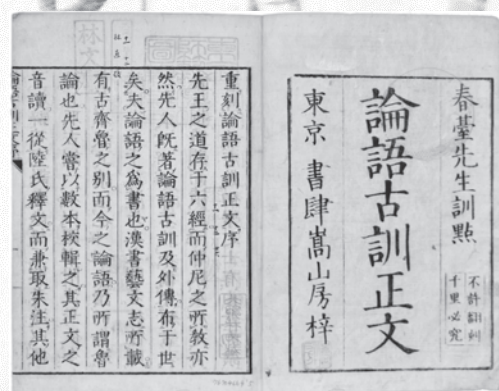
あわせて附属図書館蔵書を代表する貴重書から今回の企画に適合する資料を展示します。

## 第I部 本のかたち



長秋詠草

## 第II部 本の構成



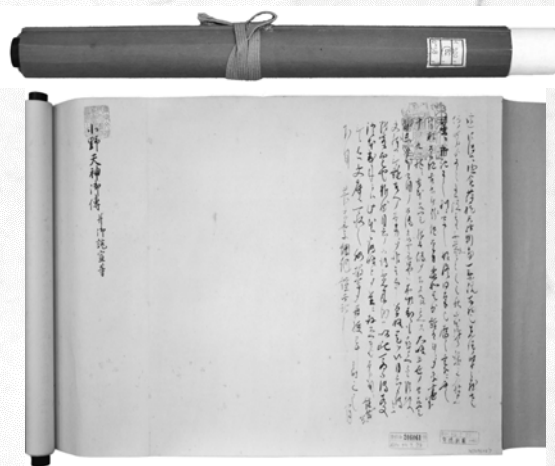
論語古訓正文

## 第III部 写した本・刷った本



訂正常陸国風土記

## 第IV部 本を分類する



菅家伝

## 交通案内

[つくばエクスプレス] つくば駅下車  
[JR 常磐線] 土浦駅・荒川沖駅・ひたち野うしく駅下車  
[常磐高速バスつくば号(東京駅八重洲南口発)] つくばセンター下車  
<<各駅からバスに乗り換え>>  
筑波大学中央行・筑波大学循環(右回り)→「第一エリア前」  
筑波大学循環(左回り)→「大学公園」  
※可能な限り公共交通機関をご利用ください。

